

平成26年度 「親子で学ぶ!防災キャンプ」開催要項

- 1 趣 旨 自然の家を避難所とし、震災時に近い疑似体験の場を体験する。参加者が主体となり避難所の整備・運営など身をもって体験し、各自が「防災・減災」という観点に立ち、自他の生命を守るためにとるべき行動の判断力や身の安全を守りながら、生き抜くための方法や知識を身につける。
- 2 主 催 青森県教育委員会
- 3 主 管 青森県立種差少年自然の家
- 4 期 日 平成26年11月8日(土)～9日(日) 1泊2日
- 5 場 所 青森県立種差少年自然の家
- 6 参加対象者 小中学生とその家族 24組80名程度
- 7 体験のポイント 震度7を記録する地震が発生、市全域が大きな被害を受け、電気・ガス・水道等のライフラインが途絶し、多数の避難者が自然の家へ避難することを想定した体験活動とする。
 - ① 非常時の食や水、電気、交通の遮断等、災害時の避難生活を疑似体験する。
 - ② 震災時同様に広域から参加者が集まり、実際に近い避難所体験活動を実施する。
- 8 研修内容 (1) 講話「3.11 避難所体験から ～何を学び、どう行動すべきか～」
(2) 話し合い「避難所の設置・役割分担について」
(3) 実習「食事作り・避難所環境整備」
(4) 避難所準備・整備、宿泊体験
(5) 救命救急処置、身近な物を使った応急手当
(6) 災害時に役立つ物作り(簡易コンロ、ランタン)
- 9 参加費 2,000円
内訳(昼・夜・朝・昼の4食で1600円、傷害保険代150円、活動費等250円)
※11月4日(火)以降のキャンセルの場合は、参加費のうち食費及び活動費代一部の1800円、当日10時30分以降のキャンセルの場合は、2000円を負担していただきます。なお、キャンセル料は持参、もしくは現金書留で郵送していただくことになります。
- 9 服装・携行品 室内用運動靴、野外に適した服装、防寒着、洗面道具、軍手
- 10 申込方法 ・所定の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXで申し込んでください。
電話での申し込みも受け付けます。
・申込期間 10月14日(火)～24日(金)
※申込受付時間12:30～17:00です。定員になり次第、締め切ります。
【申込先】青森県立種差少年自然の家
Tel 0178-38-2131 Fax 0178-38-2727

11 活動日程

11月8日(土)	
9:00	受付 [玄関ホール]
9:30	開会式 [大ホール]
9:50	研修1 講話「3.11 避難所体験から ～何を学び、どう行動すべきか～」 講師 鳩田小学校 教頭 三戸 盛司 氏
11:20	話し合い [プレーホール] 避難所での役割分担 (食事班、避難所環境整備班など)
	<電気、ガス、水道のライフライン停止状態>
12:00	昼食 昼食の配給作業：支援物資搬入(想定)→食事班が配給
12:30	実習1・2 避難所整備 [物品搬入等]、食材配付等
14:00	実習3 災害時に役立つ物作り (灯りの確保等) ・空き缶で簡易コンロ、空きビンで簡易ランタン
15:00	実習4 食事準備・参加者グループで炊事 ・調理 (夕食分) ・節水の工夫 (皿にラップやビニール袋をかけるなど)
17:00	夕食
18:30	後始末
19:30	一日の振り返り
21:30	避難所体験泊 ・避難所の環境整備
11月9日(日)	
6:00	起床 洗面
6:30	朝の集い 健康観察、ラジオ体操
7:00	実習5 朝食づくり
8:30	簡易コンロでお湯を沸かし、インスタントスープと雑炊の朝食 研修2 救命救急処置及び身近な物を使った応急手当等について 青森県防災士会 八戸支部
12:00	昼食：非常食試食+飲物+果物
	<電気、ガス、水道のライフライン復旧>
13:00	清掃活動・避難所の撤収 [トイレ、プレーホール等の清掃、物品の返却]
13:45	防災キャンプを振り返って
14:00	閉会式 [大ホール]